

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 カワタ  
 コード番号 6292 URL <http://www.kawata.co/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 湯川 直人  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理部門統括 (氏名) 尾崎 彰  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 JQ

TEL 06-6531-8211

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,680	—	227	—	220	—	112	—
20年3月期第1四半期	3,552	0.9	228	29.9	234	35.6	137	57.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	15.63	—
20年3月期第1四半期	19.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第1四半期	12,766	—	6,464	—	49.3	875.63
20年3月期	12,633	—	6,554	—	50.5	886.89

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,294百万円 20年3月期 6,376百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	6.50	—	6.50	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,700	△0.1	540	0.6	535	△0.6	290	0.6	40.34
通期	15,400	△1.3	1,080	△8.2	1,070	△8.8	580	△8.2	80.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 7,210,000株 20年3月期 7,210,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 21,546株 20年3月期 20,752株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 7,188,943株 20年3月期第1四半期 7,192,012株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 現時点におきましては、平成20年5月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 本資料における予想には、発表日現在の将来に関する見通し、計画等に基づく予測が含まれております。経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実績値が記載の予想値と異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第1四半期の概況

当第1四半期のおが国経済は、輸出、生産が弱含みとなり、設備投資もおおむね横ばいとなる等、景気回復は足踏み状態となっており、海外においても、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の悪化懸念、世界的な原油・資材・食料価格の高騰や株式・為替市場の変動等、内外経済には先行き不透明感が強まっております。

当業界におきましても、1月～3月の射出成形機の国内生産は台数ベースで約3,790台、金額ベースで567億円とおおむね前年並みとなったものの、4月以降の原油価格の高騰により、プラスチック成形加工業界の業況判断は一段と慎重さが増しており、設備投資の減速が懸念されております。

このような環境下、当社グループは、コアビジネスのプラスチック製品製造機器事業において、当業界のリーディングカンパニーとして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、多様化するユーザーニーズに対応するとともに、今後の戦略部門である新規事業において新技術の開発、受注拡大に注力してまいりました。

この結果、売上高は標準機が苦戦したものの、デジタル家電、環境関連の大型物件が寄与したこと等により、36億8千万円となりました。

利益面では、価格競争の激化や売上構成比の変動等により売上総利益率が計画を下回り、営業利益は2億2千7百万円、経常利益は2億2千万円となりました。

また、貸倒引当金戻入額1百万円等を特別利益に、固定資産除却損1百万円を特別損失に計上し、これから法人税、住民税及び事業税9千2百万円等を差し引いた結果、四半期純利益は1億1千2百万円となりました。

(2) セグメント別の状況

事業の種類別セグメントでは、プラスチック製品製造機器事業の売上高は、デジタル家電関連の大型物件が寄与したこと等により35億5千5百万円となりました。営業利益は競争激化による売上総利益率の未達等により2億3千6百万円となりました。新規事業の売上高は、環境関連の大型物件が寄与したこと等により1億2千4百万円となりましたが、利益面では経費をカバーするまでには至らず8百万円の営業損失となりました。

所在地別セグメントでは、日本では、売上高が29億3千8百万円、営業利益が1億4千2百万円となりました。中国では、売上高が4億2百万円、営業利益が4千8百万円となりました。その他の地域では、売上高が5億2千9百万円、営業利益が1千7百万円となりました。なお、所在地別セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、現金及び預金が減少しましたが、たな卸資産が増加したこと等により9千9百万円増加し、102億8千9百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、無形固定資産が減少しましたが、有形固定資産が増加したこと等により3千3百万円増加し、24億7千6百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億3千2百万円増加し、127億6千6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したこと等により1億1千3百万円増加し、47億6千5百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、リース債務が増加したこと等により1億9百万円増加し、15億3千6百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億2千3百万円増加し、63億2百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、株主資本が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したこと等により9千万円減少し、64億6千4百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、計画数値を若干下回っているものの、おおむね前年同期並みの数値を確保することが出来ました。また、当第1四半期末の受注残高も前連結会計年度末に比べて増加しており、第2四半期以降も期初に立案した経営施策を着実に実行していくことにより、計画の達成が可能と判断しております。現時点におきましては、平成20年5月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

###### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### (2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ① 四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当社は従来、低価法を採用しておりましたが、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、子会社を含めて「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。なお、これによる影響額はありません。

###### ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、これによる影響額はありません。

###### ④ リース取引に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。なお、これによる損益に与える影響額はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,538,366	2,718,243
受取手形及び売掛金	5,303,570	5,299,090
商品及び製品	382,720	396,356
仕掛品	998,130	823,989
原材料及び貯蔵品	809,180	745,973
その他	351,582	306,622
貸倒引当金	△93,849	△99,864
流動資産合計	10,289,700	10,190,412
固定資産		
有形固定資産	1,769,536	1,731,334
無形固定資産		
のれん	63,359	72,411
その他	45,342	50,571
無形固定資産合計	108,702	122,982
投資その他の資産		
その他	614,215	606,913
貸倒引当金	△15,690	△17,844
投資その他の資産合計	598,525	589,069
固定資産合計	2,476,764	2,443,386
資産合計	12,766,465	12,633,798
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,204,522	2,105,052
短期借入金	806,565	682,260
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	169,571	292,121
製品保証引当金	157,755	165,531
役員賞与引当金	20,551	27,600
その他	906,251	878,943
流動負債合計	4,765,218	4,651,508
固定負債		
社債	900,000	900,000
長期借入金	115,040	88,040
退職給付引当金	271,014	264,934
役員退職慰労引当金	138,861	135,386
負ののれん	32,569	34,902
その他	79,505	4,190
固定負債合計	1,536,990	1,427,453
負債合計	6,302,208	6,078,961

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	4,252,091	4,197,226
自己株式	△11,487	△11,094
株主資本合計	6,287,137	6,232,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,620	47,708
繰延ヘッジ損益	△743	△1,359
為替換算調整勘定	△48,572	97,052
評価・換算差額等合計	7,305	143,401
少数株主持分	169,813	178,770
純資産合計	6,464,256	6,554,837
負債純資産合計	12,766,465	12,633,798

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	3,680,377
売上原価	2,672,047
売上総利益	1,008,329
販売費及び一般管理費	780,382
営業利益	227,947
営業外収益	
受取利息	4,058
受取配当金	4,396
負ののれん償却額	2,332
その他	5,588
営業外収益合計	16,375
営業外費用	
支払利息	6,958
為替差損	14,000
その他	3,054
営業外費用合計	24,012
経常利益	220,309
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,432
特別利益合計	1,432
特別損失	
固定資産除却損	1,238
特別損失合計	1,238
税金等調整前四半期純利益	220,503
法人税、住民税及び事業税	92,652
法人税等調整額	△3,345
法人税等合計	89,306
少数株主利益	18,817
四半期純利益	112,378

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	プラスチック製品製造機器事業(千円)	新規事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,555,535	124,842	3,680,377	—	3,680,377
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,555,535	124,842	3,680,377	—	3,680,377
営業利益(△は損失)	236,428	△8,481	227,947	—	227,947

(注) 事業区分は製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して行っております。各事業の内容は次のとおりであります。

事業区分	主な事業内容
プラスチック製品製造機器事業	プラスチック材料等の貯蔵、輸送、混練、計量、乾燥、着色等の各工程の合理化機器の自動化システム及び金型の温度調節機器(金型温度調節機及び金型冷却機)の製造・販売・保守サービス
新規事業	粉碎機及び環境保全関連等の各工程の合理化機器の自動化システムの製造・販売・保守サービス

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本(千円)	中国(千円)	その他の地域(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,864,845	291,306	524,225	3,680,377	—	3,680,377
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	73,931	111,230	5,554	190,716	(190,716)	—
計	2,938,777	402,537	529,780	3,871,094	(190,716)	3,680,377
営業利益	142,893	48,848	17,144	208,887	19,060	227,947

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び経済活動の類似性によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

その他の地域……アメリカ合衆国・シンガポール・マレーシア・タイ・台湾

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	東アジア	東南アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	469,482	388,151	234,301	34,581	1,126,516
II 連結売上高(千円)					3,680,377
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.8	10.5	6.4	0.9	30.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア……中国・台湾・韓国・香港

このうち、中国における売上高は316,050千円(連結売上高に占める割合8.6%)であります。

(2) 東南アジア……タイ・シンガポール・マレーシア・インドネシア・ベトナム

(3) 北米……アメリカ合衆国

(4) その他の地域……インド・メキシコ

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	3,552,983
II 売上原価	2,527,164
売上総利益	1,025,818
III 販売費及び一般管理費	797,155
営業利益	228,663
IV 営業外収益	20,630
V 営業外費用	15,183
経常利益	234,111
VI 特別利益	12,459
VII 特別損失	248
税金等調整前四半期純利益	246,322
法人税、住民税及び事業税	93,705
法人税等調整額	△4,133
少数株主利益	18,865
四半期純利益	137,885

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	プラスチック 製品製造機器 事業(千円)	新規事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,480,880	72,102	3,552,983	—	3,552,983
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,480,880	72,102	3,552,983	—	3,552,983
営業費用	3,213,078	111,241	3,324,319	—	3,324,319
営業利益(△は損失)	267,801	△39,138	228,663	—	228,663

(注) 事業区分は製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して行っております。各事業の内容は次のとおりであります。

事業区分	主な事業内容
プラスチック製品製造 機器事業	プラスチック材料等の貯蔵、輸送、混練、計量、乾燥、着色等の各工程の合理化機器の自動化システム及び金型の温度調節機器(金型温度調節機及び金型冷却機)の製造・販売・保守サービス
新規事業	粉砕機及び環境保全関連等の各工程の合理化機器の自動化システムの製造・販売・保守サービス 食品材料、医薬品原料等の貯蔵、輸送、混練、計量、乾燥、着色等の各工程の合理化機器の自動化システムの製造・販売・保守サービス及び微細発泡プラスチック新素材(MCF)製造成形機の製造・販売・保守サービス

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	日本(千円)	中国(千円)	その他の地域(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,607,308	280,941	664,734	3,552,983	—	3,552,983
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	189,224	192,731	12,420	394,376	(394,376)	—
計	2,796,533	473,672	677,154	3,947,360	(394,376)	3,552,983
営業費用	2,649,880	449,277	620,251	3,719,409	(395,089)	3,324,319
営業利益	146,652	24,395	56,902	227,950	713	228,663

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び経済活動の類似性によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

その他の地域……アメリカ合衆国・シンガポール・マレーシア・タイ・台湾